

2017年10月31日
日 本 銀 行

当面の金融政策運営について

日本銀行は、本日、政策委員会・金融政策決定会合において、以下のとおり決定した^(注1)。

(1) 長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）（賛成8反対1）^(注2)

次回金融政策決定会合までの金融市場調節方針は、以下のとおりとする。

短期金利：日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。

長期金利：10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、長期国債の買入れを行う。買入れ額については、概ね現状程度の買入れペース（保有残高の増加額年間約80兆円）をめどとしつつ、金利操作方針を実現するよう運営する。

(2) 資産買入れ方針（全員一致）

長期国債以外の資産の買入れについては、以下のとおりとする。

- ① ETFおよびJ-REITについて、保有残高が、それぞれ年間約6兆円、年間約900億円に相当するペースで増加するよう買入れを行う。
- ② CP等、社債等について、それぞれ約2.2兆円、約3.2兆円の残高を維持する。

以 上

^(注1) 片岡委員は、オーバーシュート型コミットメントを強化する観点から、国内要因により「物価安定の目標」の達成時期が後ずれする場合には、追加緩和手段を講じることが適当であり、これを本文中に記述することが必要として反対した。

^(注2) 賛成：黒田委員、岩田委員、中曾委員、原田委員、布野委員、櫻井委員、政井委員、鈴木委員。反対：片岡委員。片岡委員は、イールドカーブにおけるより長期の金利を引き下げる観点から、15年物国債金利が0.2%未満で推移するよう、長期国債の買入れを行うことが適当であるとして反対した。

(参考)

- ・開催時間——10月30日(月) 14:00~15:09
10月31日(火) 9:00~11:58

- ・出席委員——議長 黒田 東彦 (総裁)
岩田 規久男 (副総裁)
中曾 宏 (")
原田 泰 (審議委員)
布野 幸利 (")
櫻井 眞 (")
政井 貴子 (")
鈴木 人司 (")
片岡 剛士 (")

上記のほか、

10月30日

財務省	可部 哲生	大臣官房総括審議官 (14:00~15:09)
内閣府	前川 守	内閣府審議官 (14:00~15:09)

10月31日

財務省	木原 稔	財務副大臣 (9:00~11:33、11:42~11:58)
内閣府	越智 隆雄	内閣府副大臣 (9:00~11:33、11:42~11:58)

が出席。

- ・公表日時

当面の金融政策運営について——10月31日(火) 12:05

経済・物価情勢の展望(基本的見解)——10月31日(火) 12:05

経済・物価情勢の展望(背景説明を含む全文)——11月1日(水) 14:00 予定

主な意見——11月9日(木) 8:50 予定

議事要旨——12月26日(火) 8:50 予定

以 上